

西日本豪雨 正式名称「平成 30 年 7 月豪雨」現地視察

RMO 第二回災害現地視察「岡山県庁訪問と現地視察」

視察日：2018 年 7 月 20 日（金）

参加者：機構長中田準一 事務局長庫川尚益 会員郡山貞子（記）

東京 6:00 発 岡山 9:09 着

10 時 45 分訪庁

岡山県副知事へ RMO の資料を提出。

- ① パンフレット ② 一般社団法人災害総合支援機構のご案内
- ③ 活動実績 ④ ロードマップ

11 時、岡山県危機管理課 課長根石氏と会談

機構長中田氏より、一般社団法人災害総合支援機構の理念と活動実績の説明。

災害という非日常においては様々な問題が顕在化してくるので、一刻も早く日常を取り戻すためには国家資格を持った専門家の団体により、ワンストップの対応が必要となる。

ロードマップの説明。地震災害を主体としているが、水害も復興の流れに大きな差異はない。今後さらに充実してゆく。現在の状況を把握できる。

根石氏から RMO の活動に賛辞を受ける。活動実績のうちロードマップに関心を強く示された。

課長根石氏より質問を受けた。

1) 「岡山県弁護士会から申し出がありその対応について思案中である。一団体とどのような形で協定を結ぶことで良いのか。」

当 RMO 理事の弁護士中野さんを紹介、専門家の連携を踏まえた対応について説明。

2) 「緊急支援は当該部署で対応しているが、相談会を行うとなると県対応も考えられる。相談会の運営方法を知りたい。」

信頼のおけるところに相談窓口を設け、事前受付をすることを提案。事前受付をすることにより相談内容にふさわしい専門家の対応が行える。東日本大震災、常総市水害、熊本地震等の経験を説明。県、市町村に窓口を設け電話や対面で相談内容を確認し、予約制としてブースを設け複数の専門家で対面の相談をした。

また、自治体との協定実績について質問を受けた。

- ① パンフレット ② 一般社団法人災害総合支援機構のご案内
- ③ 活動実績 ④ ロードマップ 以上 4 種の資料を提出した。

11:50 終了

13:30 岡山発山陽本線各駅 倉敷駅へ

14:00 タクシーにて倉敷駅より真備方面へ視察

左岸に高梁側を見ながら、国道 486 号周辺の自衛隊による瓦礫処理の現場を見る。

井原線川辺宿駅あたりより小田川沿いの浸水被害の状況を見る。通行止めの状況の中周り道し、岡山県倉敷市真備やた地先、支流高馬川右岸小田川合流付近の堤防決壊付近の現地視察。

16:00 清音付近混雑のため二万経由で倉敷駅に戻る

16:33 岡山発帰路へ 19:53 東京着

西日本豪雨 正式名称「平成30年7月豪雨」現地視察
RMO第二回災害現地視察「岡山県庁訪問と現地視察」

2018年7月20日（金）

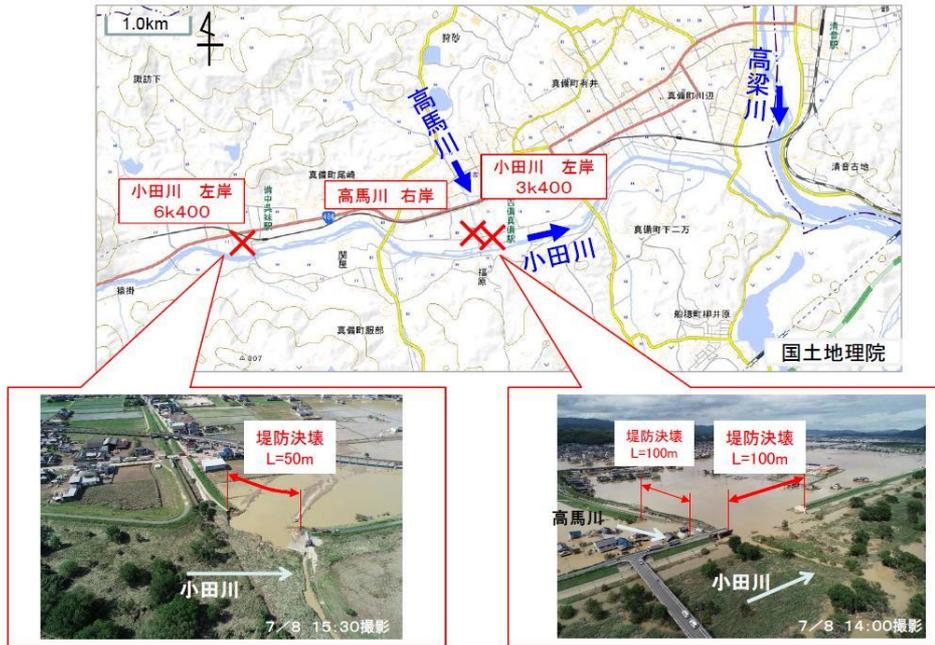
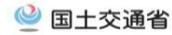


岡山県危機管理課 課長根石氏と会談

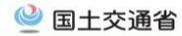


岡山県倉敷市真備やた地先、支流高馬川右岸小田川合流付近の堤防決壊付近の現地

位置図

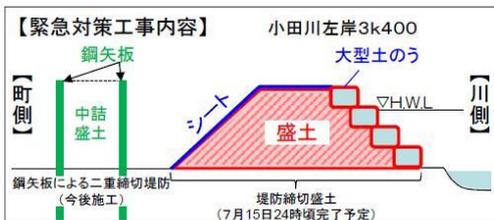


高梁川水系小田川 左岸3k400(岡山県倉敷市真備町箭田地先) 支川高馬川右岸小田川合流点付近 堤防締切盛土の進捗

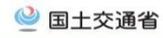


7月9日 堤防締切盛土着手
7月15日23時頃 堤防締切盛土完了予定

※完了後の状況写真については、明朝に改めて掲載予定です。



高梁川水系小田川 左岸6k400(岡山県倉敷市真備町尾崎地先)
堤防締切盛土の進捗



7月9日 堤防締切盛土着手
7月15日16時 堤防締切盛土完了

緊急対策工事状況 【被災直後】

堤防決壊
L=50m

小田川

7/8. 15:30撮影

【完了】

小田川

7/15 12:00撮影

【緊急対策工事内容】 小田川左岸6k400

鋼矢板

町側

中詰盛土

大型土のう

盛土

▽HWL

川側

鋼矢板による二重締切堤防 (今後施工)

堤防締切盛土 (7月15日16時完了)

2018.7.15 16時
堤防締切盛土完了状況